

人  
生  
き  
も  
の  
川  
じ  
ん  
ぐ  
さ



# 武 庫 川

き  
っ  
と  
新  
た  
な  
発  
見  
が  
あ  
る

MUKOGAWA

MUKOGAWA



## はじめに

武庫川は太古の昔から人々の生活に密着した、恵み豊かな川でした。しかし、生活様式が変化するにつれて、人々の心はだんだんと川から離れていきました。洪水をなくし、川を利用するなど急速な都市化によって、川の生きものは種類も数も減り、生物の多様性が失われようとしています。

今、色々な地域に昔から生きていた、その土地に固有の生きものを守り、育てる必要があります。そのために、皆さんに武庫川をもっと身近なものにして頂こうと思い、この情報誌を作りました。

この情報誌は、地域の皆さんに、武庫川により興味を持っていただけるよう川を「知ろう」、生きものを「見つけよう」、川辺の活動に「参加しよう」の3つのコンセプトからできています。



### 河川水辺の国勢調査とは

「河川水辺の国勢調査」は、全国の主要な川において、川が今どんな様子か、そこにどんな生きものが生息しているのかといった、川のありのままの姿を調べています。この調査の結果は、自然を活かした「川づくり」に反映させています。

武庫川では本川の3ヶ所と、支川である有野川の1ヶ所、羽束川の1ヶ所の合計5ヶ所で川的环境と生きものの調査を平成6年度と平成11年度の2回行いました。

この情報誌は過去2回の河川水辺の国勢調査結果などを活用して、武庫川を紹介する冊子として取りまとめたものです。

### 「河川水辺の国勢調査」アドバイザーの先生(敬称略:50音順)

朝日 稔	兵庫医科大学名誉教授	(専門分野:両生類・爬虫類・哺乳類)
江崎保男	姫路工業大学教授	(専門分野:鳥類)
小嶋吉雄	関西学院大学名誉教授 日本海洋科学専門学校校長	(専門分野:魚類)
坂根 干	日本鳥学会永年会員	(専門分野:鳥類)
西村 登	兵庫陸水生物研究会代表世話人	(専門分野:底生動物)
服部 保	姫路工業大学教授	(専門分野:植物)
桃井節也	神戸大学名誉教授(故人)	(専門分野:陸上昆虫類等)

## 四季おりおりの表情



## もくじ

### 知ろう

武庫川ってどんな川	3
河口の環境	5
下流の環境	7
中流(渓谷)の環境	9
上流の環境	11

### 見つけよう

生きものの姿と習性	
河口の生きもの	13
下流の生きもの	15
中流(渓谷)の生きもの	17
上流の生きもの	19

### 参加しよう

みんなの川づくり	21
----------	----

### トピックス

鳥の羽をひろったら	14
足跡を見つけたら	16
日本固有の生態系があぶない!? (1)	18
日本固有の生態系があぶない!? (2)	20



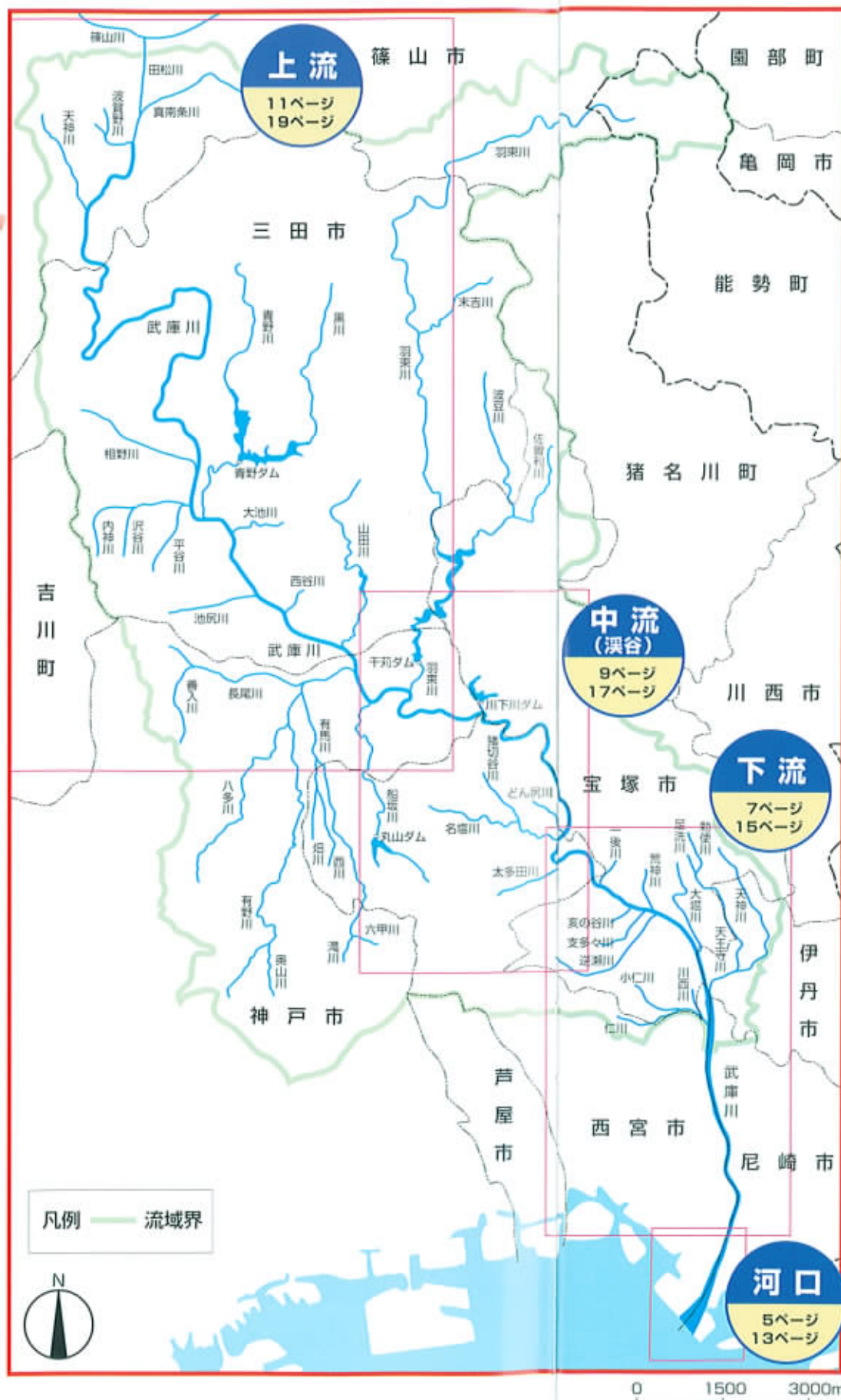
# 武庫川ってどんな川?

## 兵庫県内での位置と概要

兵庫県は日本海と瀬戸内海の両方に面しており、県の中央を東西に横切る中国山地の北側の川は日本海へ、南側の川は瀬戸内海へと流れています。武庫川は中国山地の南の川で、丹波山地から大阪湾へと注いでいます。流域面積（雨水を集める広さ）は約500km<sup>2</sup>で、県内でも5番目の広さです。



## 武庫川河川位置図

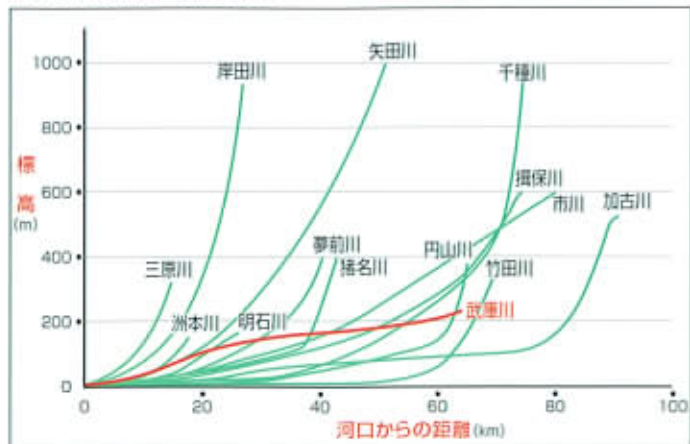


## 武庫川の勾配と長さ

多くの川は上流から下流へと勾配が徐々に緩やかになっていきますが、武庫川の上流は勾配がゆるい平地河川でゆったりと流れ、河口まであと30kmあたりから勾配がきつくなり、15kmあたりで再び緩やかになります。このため武庫川の上流には渓谷がなく、逆に中流に渓谷が発達しています。武庫川の長さは65.7kmです。

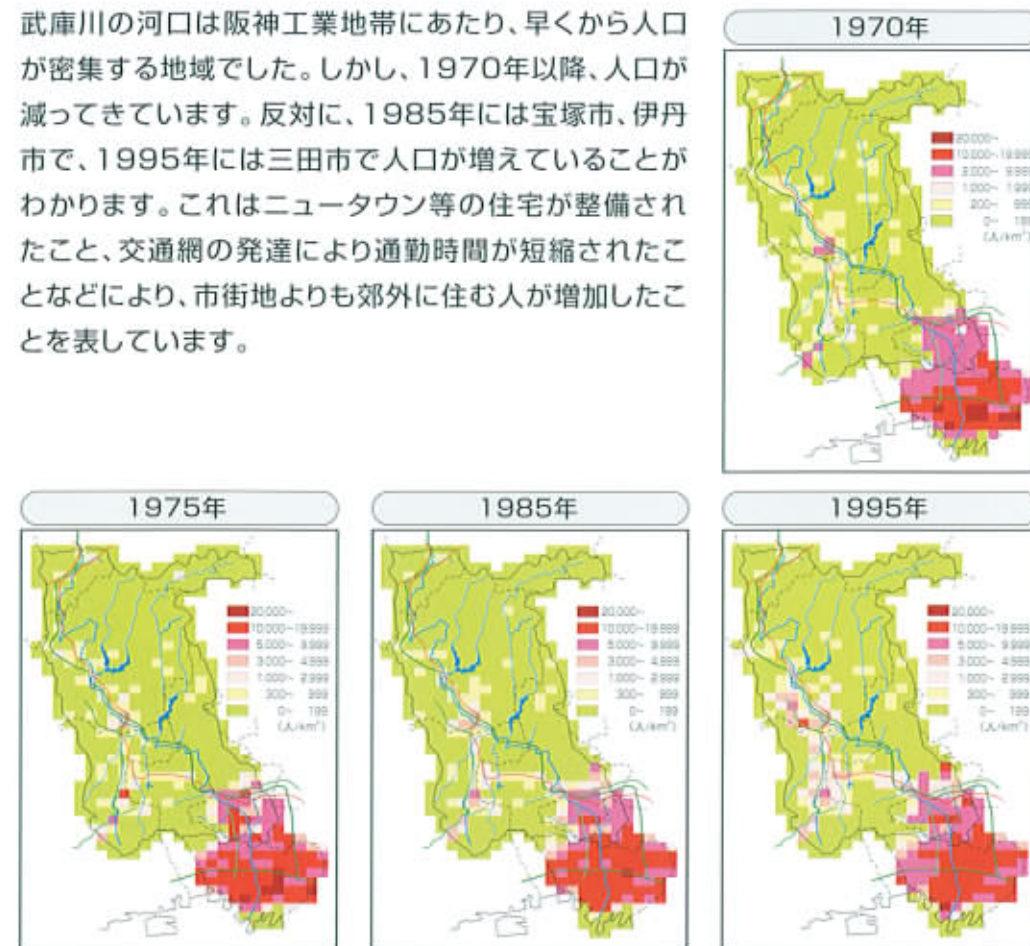
	勾配	周辺部	河口からの距離
上流	ゆるやか	農地	30~65
中流(渓谷)	急	山地	15~30
下流・河口	ゆるやか	市街地	0~15

■兵庫県内の川の勾配と長さ



## 武庫川流域の人口分布

武庫川の河口は阪神工業地帯にあたり、早くから人口が密集する地域でした。しかし、1970年以降、人口が減ってきています。反対に、1985年には宝塚市、伊丹市で、1995年には三田市で人口が増えていることがわかります。これはニュータウン等の住宅が整備されたこと、交通網の発達により通勤時間が短縮されたことなどにより、市街地よりも郊外に住む人が増加したことを表しています。



## 兵庫県の川の水質

	環境基準					
	AA	A	B	C	D	E
BOD:1mg/ℓ以下	BOD:2mg/ℓ以下	BOD:3mg/ℓ以下	BOD:5mg/ℓ以下	BOD:8mg/ℓ以下	BOD:10mg/ℓ以下	
そのまま飲めるくらいきれい	泳げるくらいきれい	高度に処理すれば飲める	水道水には適さない	農業用水として利用できる	工業用水として利用できる	
	きれい ←			→ 汚い		
水質基準の指定状況	上流 岸田川 矢田川 千種川	武庫川(三田大橋より上流) 武庫川(1.1mg/ℓ) 丹山川 播保川 夢前川 市川 加古川	明石川 猪名川	中流 武庫川(2.0mg/ℓ)	武庫川(三田大橋より三川合流点まで)	下流 武庫川(1.6mg/ℓ) 岸田川 矢田川 千種川
		丹山川 市川 夢前川 加古川 播保川 猪名川	武庫川(三川合流点より下流) 明石川	猪名川		

\*川のの水質は、BOD(生物化学的酸素要求量)の値で代表されます。  
\*武庫川(赤文字)は、水質基準の指定状況。武庫川(青文字)は、平成13年度現在の水質。

## 武庫川の水質は…

河川の水質には、維持することが望ましい基準(目標値)として、環境基準が定められています。その基準は水域ごとに、水道水に使えるかどうか、魚が住める水かどうか、農業・工業用水として使うにはどうか等によってAA~Eまで決まっています。武庫川のBOD(平成13年度現在)は、上流1.1mg/ℓ、中流2.0mg/ℓ、下流1.6mg/ℓで、それぞれ基準を満足しています。



## 河口の特色

武庫川の河口周辺は埋立地でその土地利用は、工場、住宅団地などです。川幅は広く、コンクリートの護岸と堤防が築かれ、南武橋付近から上流には河川公園が整備されています。今はこんな人工的な環境ですが、戦前には砂浜があり、松の木が生えるのどかな風景がありました。

### ■南武橋付近



### ■武庫川河口上空より



## 河口周辺図



## 河口周辺風景の移り変わり

1880年(明治13年測量)



河口には砂がたまり、川は自然に流れています。途中から枝川(えだがわ)が分かれています。周辺は水田です。

1930年ごろ(昭和4年~7年測量)



川底を掘り下げ堤防を整備し、直線的になりました。枝川はなくなっています。

1950年ごろ(昭和22年~29年測量)



海岸部の埋め立てが進みました。流れが少なく海岸には砂がたまっています。周辺の水田がなくなり、住宅地になってきています。

1998年(平成10年測量)



海岸部の埋め立てがさらに進み、河口が以前よりも海岸に伸びています。周辺地域はほとんど住宅地になりました。

出典/1:25,000地形図(西宮・大阪西北部)



## 下流の特色

下流は西宮市、尼崎市、宝塚市、伊丹市の市街地を流れています。川幅が広く、水辺には河原や草地があり、自然が残されています。都市の中にある広い自然空間として、多くの人が川遊びや散歩などにやって来ます。

### ■甲武橋付近



### ■武庫川下流上空より



## 下流周辺図



## 河川公園

下流のほぼ全域にわたって河川公園が整備されています。グラウンドやマラソンコースなどがあり、多くの人に利用されています。



潮止堰上流付近



武庫大橋付近

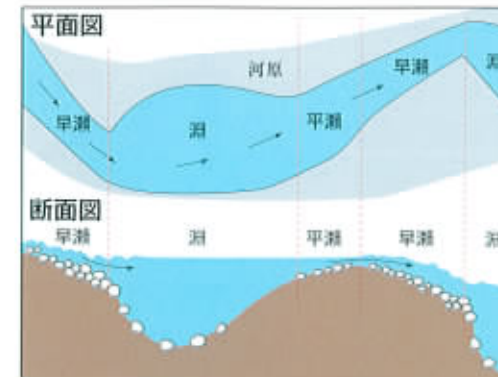
## 天井川（武庫川下流）

川の下流では、川底の勾配がゆるやかになるため、上流から流れてきた土砂がたまっていきます。武庫川の流域では、特に六甲山系からの土砂が、大量に流されてきて、下流部に溜まっていきます。人々は川沿いで暮らしていますが、度重なる洪水の氾濫を防ぐため、堤防を高くして、川の流れを規制してきました。流れてきた土砂は行き場をなくして堤防内にたまり、川底はますます高くなり、周囲の土地よりも川底の方が高い、天井川が形成されました。



## 川の流れと作用について

川は自然の状態では、まっすぐに流れることはありません。かならず曲がりながら流れます。これを蛇行といいます。また、川は流れながらまわりのものを削り取り（侵食作用）、削ったものを流し（運搬作用）、下流に置いていきます（堆積作用）。この3つの作用によって、早瀬、平瀬、淵などができ、生きものもそれぞれの環境に適応して生きています。



河床型	① 早瀬	② 平瀬	③ 淵
水深	浅い	浅い	深い
水面	白波が立つ	しわのような波	波立たない
流速	もっとも速い	速い	ゆるい
底質	浮き石	沈み石	砂

### ① 早瀬



### ② 平瀬



### ③ 淵





## 中流（渓谷）の特色

武庫川は一般の河川と異なり、中流の勾配がもっとも急で、渓谷となっています。昔はこの渓谷部は平坦で、武庫川はゆったりと大阪湾へ流れていました。その後、六甲山の隆起と共に、武庫川周辺も急激に隆起したにもかかわらず、武庫川が川底を削り取る力がまさったため元の流路のまま流れつづけ、その土地を削り取って渓谷となりました。このようにしてできた谷を先行谷と呼びます。武庫川渓谷は兵庫県の貴重な地形に選ばれています。

### ■武田尾付近



### ■名塩付近



### ■武庫川渓谷上空より



## 中流（渓谷）周辺図



## 四季折々の表情が美しい武庫川渓谷

武庫川渓谷は春の山桜、初夏のツツジ、緑したたる夏、そして全山が燃える紅葉と、四季折々の姿を見せ、とても美しいところです。都会から近いにもかかわらず、豊かな自然が残されています。渓谷中央部の温泉は、江戸時代のはじめに豊臣方の落武者だった武田尾某という木こりが発見したので、「武田尾温泉」という名前がつけられたと伝えられています。



武田尾付近



サツキ

名塩川合流付近

## 千刃貯水池（せんがりちよすいち）

千刃貯水池は羽束川をせき止めてできたダム湖で、三田市、宝塚市、神戸市にまたがって位置し、神戸市に水道水を供給しています。第1次世界大戦当時、神戸市は急増する人口に供給する飲料水の確保と、神戸港に入港する船舶に供給する良質の水を必要としていました。布引と烏原の貯水池をもってはいましたが、それだけでは不足していたため、水質・水量等について各地を調査した結果、羽束川が選ばれ、千刃貯水池が作られました。ダムの堰堤は今では国の登録有形文化財に指定されています。春はツツジやサクラが周囲の山を彩り、ハイキングや釣りなどに多くの人が訪れます。



ダム下流



千刃ダム



## 上流の特色

上流は三田市、篠山市に位置し、盆地を緩やかなカーブを描いて流れています。周辺は三田市の中心部を除いてほとんどが農耕地で、のどかな田園風景が見られます。勾配が緩やかなので、水もゆったりと流れています。堤防上には桜づつみが整備され、散策道として利用されています。支川の青野川には青野ダムが築かれ、三田市などに水道水を供給しています。

### ■神橋付近



### ■武庫川上流上空より



## 上流周辺図



## 武庫川の源流

「武庫川」という名前の川は、真南条川と田松川の合流よりも下流とされています。この2つの川が武庫川の源流です。真南条川をさかのぼると、途中で「龍蔵寺川」に名前を変え、龍蔵寺のある愛宕山が源流となります。もう一方の田松川には源流がありません。田松川は武庫川と、篠山市を西へ流れて加古川に流入する篠山川の、両方とつながっています。田松川にはほとんど勾配がなく、最も標高の高い場所に2つの水門があり(写真)、この水門によって武庫川水系と加古川水系を分けています。

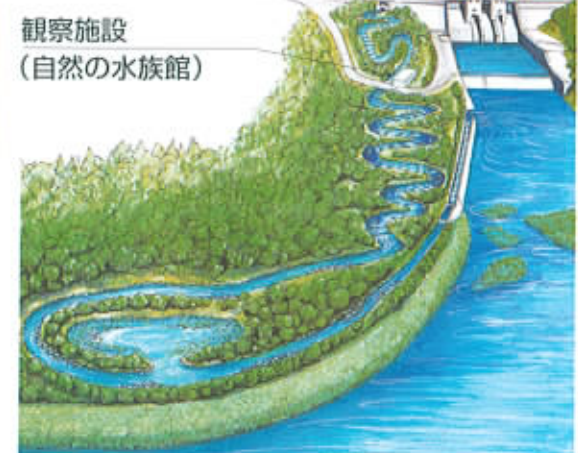


これらの水門があがれば武庫川につながります ← 源流 → これらの水門があがれば篠山川につながります

田松川は明治のはじめ、文明開化の波に乗り「田松川通船事業」として篠山から三田へ船輸送のために開削されました。北へ下れば加古川へ入り播州高砂、南へ下れば尼崎の海岸へ行けるといいます。しかし、水深が浅く、水がかれると舟が通らないことから、数年で廃業になりました。圃場整備事業(水田を整備すること)で田松川の運河としての姿の大部分は失われ、水門だけが当時を偲ばせます。

## 青野ダムと多自然型魚道

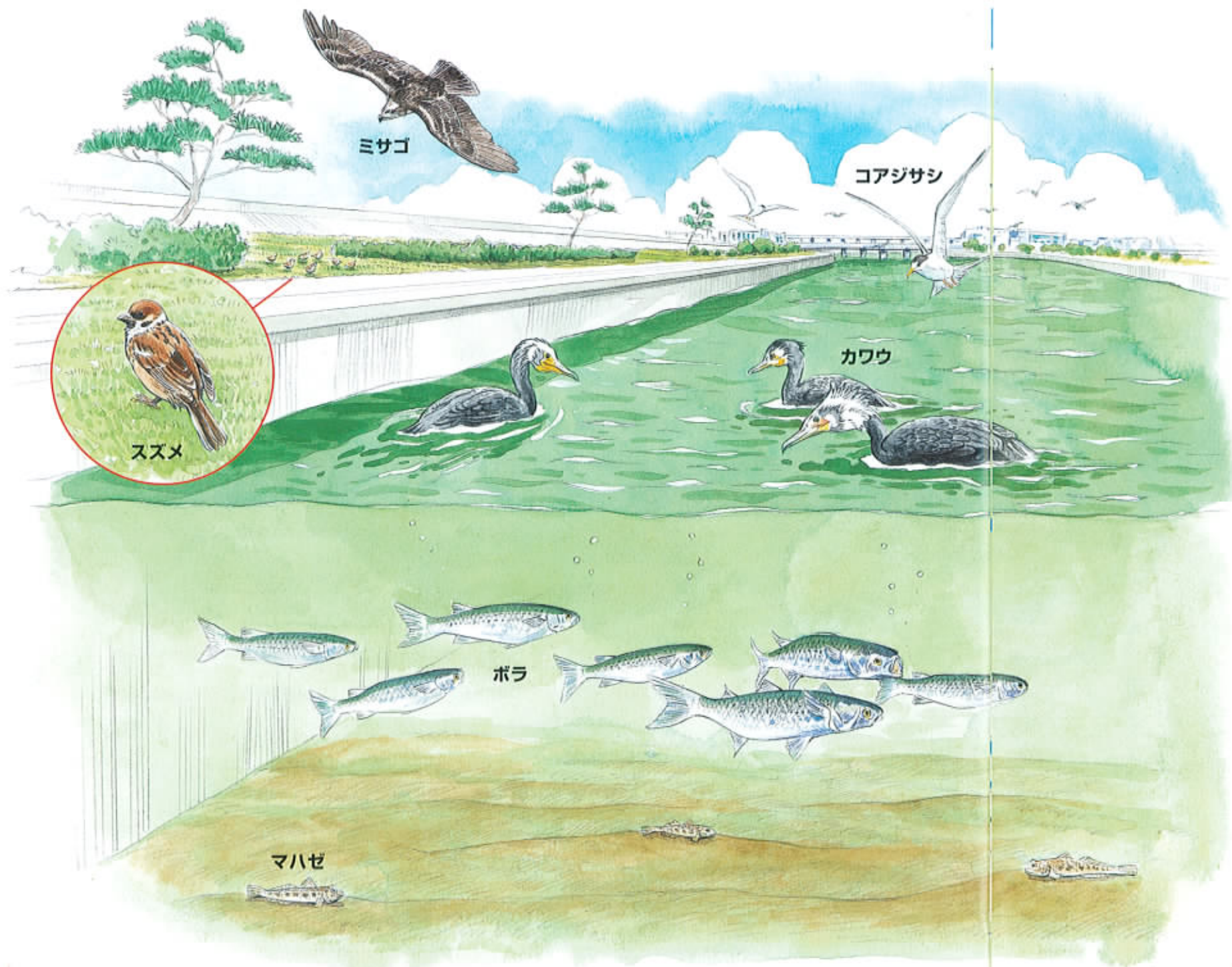
武庫川は水道用水、灌漑用水、工業用水として川沿いの人々の生活に大きく貢献してきました。1960年代になって周辺地域で住宅の整備が計画され、水道用水が不足することが予想されました。また、武庫川は過去に大きな災害をもたらしていることもあり、洪水の防止と水道水の確保を主目的として、1988年に青野ダムが建設されました。川をダムでせき止めると、魚類は川を上り下りできなくなります(川を遡ることを遡上、下ることを降下といいます)。そこで、青野ダムでは魚類が移動出来るように、魚のための道(魚道)が作られました。この魚道をオイカワ、カワムツ、ヨシノボリ等、約10種の魚とテナガエビ、モクスガニ等が利用しているのが確認されました。遡上の状況は多自然型魚道公園内の観察施設(自然の水族館)から観ることができます。また、この魚道の周辺には植物が植えられ、魚以外の生きものにも憩いの場を提供しています(多自然型魚道と呼んでいます)。





# 河口の生きもの

武庫川の河口周辺は埋立地で、コンクリートの護岸が築かれています。海水と真水がまじる汽水になっていて、ボラやマハゼといった河口部を好む魚類がいます。それをわらってカワウやミサゴ、コアジサシなど、たくさんの鳥がやってきます。



## トピックス

## 鳥の羽をひろったら

### 羽の種類を調べてみよう

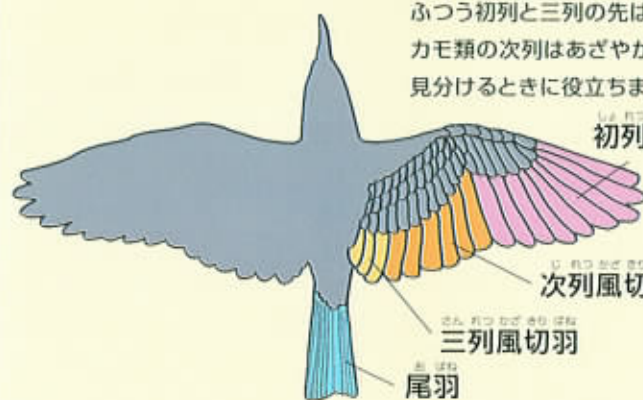
鳥の羽には正羽(風切羽・尾羽・体羽など)、糸状羽、綿羽などがあります。山や川によく落ちているのは正羽で、形や色から鳥の種類や体のどこに生えていた羽かがわかります。半年に1回翼と尾を除いた羽が、年1回全身の羽が生え変わります(換羽といいます)。

**■風切羽**… 翼の先のほうから、初列・次列・三列の3つに分けられます。これらは飛ぶための羽ですが、おもに初列は「前に進む力」、次列は「浮かぶ力(揚力)と、からだを押し上げる力」を生み出すはたらきをしています。

サシバの初列風切羽



ふつう初列と三列の先はとがっていて、次列はかくばっています。カモ類の次列はあざやかな色をしていて「翼鏡」といい、種類を見分けるときに役立ちます。



ヨシガモの次列風切羽

**■尾羽**… 尾羽は止まるときにブレーキとして、また、飛んでいるときに安定を保つために使います。



オオルリの尾羽

**■体羽**… 翼と尾を除いた体に生えている羽で、防水や保温などに役立っています。



ヤマドリの体羽

**■糸状羽**… 糸状羽は軸のみが残り、まるで動物のひげのように見えます。ツバメやツグミなどの口元にはひげがありますが、これがそうです。



**■綿羽**… 綿羽は、羽どうしをくっつけるためのかぎ構造がなく、ふわふわしています。ふつう正羽の下にあって見えません。

### 河口の生きものカレンダー

種類	冬		春			夏		秋			冬	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類			アユ(遡上)						アユ(降下)			
	ボラ							マハゼ				
			モクスガニ(遡上)						モクスガニ(降下)			
鳥類	ユリカモメ、ホシハジロ、スズガモ											
				コアジサシ、ウミネコ								
	カワウ、ダイサギ、アオサギ、スズメ、ミサゴ											

※魚介類は遡上(海から川へ上る)と降下(川から海へ下る)、および見られる期間、鳥類は見られる期間の一般的な傾向を示していますので、年や場所によって多少異なります。

●魚介類 春に潮止め堰の下流へ行くと、海で育ったアユの稚魚が川へ帰って来るのが見られます。晩夏から秋にかけてマハゼが見られます。ボラは年中大きな群れで泳いでいて、よく水面をはねています。秋になるとモクスガニが産卵のために川から降りてきます。

●鳥類 ミサゴやコアジサシ、カワウが魚を捕りにやってきます。ミサゴとコアジサシは魚を見つけると空中で停止(ホバリング)し、水中へダイビングし魚を捕らえます。冬になるとホシハジロやスズガモなどのカモ類やユリカモメなどのカモ類が北国から飛来します。



# 下流の生きもの

下流は川幅が広く、水辺には河原や草地があり、自然が残されています。草地は昆虫類の貴重な棲みかになっています。水中では、流れの速いところにはオイカワが、流れの緩やかなところにはコイやフナ、コウライニゴイ等が生息し、それをサギ達がねらいます。



## 下流の生きものカレンダー

種類	月											
	冬		春			夏			秋			冬
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類	コイ、ギンブナ、オイカワ、コウライニゴイ											
昆虫類			モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ナナホシテントウ			エンマコオロギ、トノサマバッタ、ウスバキトンボ、ナツアカネ			セシジイトトンボ、コオニヤンマ			
鳥類	ユリカモメ、ヒドリガモ、オナガガモ		ツバメ、オオヨシキリ			アオジ、ツグミ、チョウゲンボウ			アオジ、ツグミ、チョウゲンボウ			
両生・爬虫類	カヤネズミ											
哺乳類	ヌマガエル、ウシガエル、ミシシippアカミミガメ(ミドリガメ)											
植物	ウキヤガラ			コヒルガオ			クズ、ヨシ			ヒガンバナ		

※昆虫類は成虫の期間、鳥類、両生・爬虫類・哺乳類は見られる期間、植物は開花期間の一般的な傾向を示していますので、年や場所によって多少異なります。

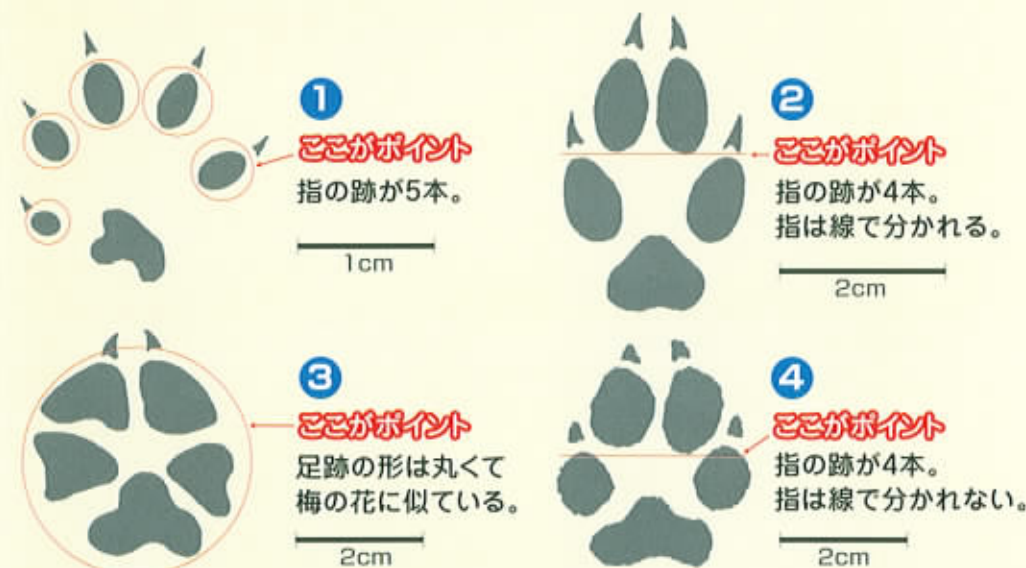
## トピックス

## 足跡を見つけたら

### 足跡の特徴を調べてみよう!

哺乳類の多くは夜行性なので、姿はめったに見ることはできません。多くの場合、足跡や糞、食べ痕など(フィールドサインといいます)で、生息していることがわかります。武庫川では上流から下流まで哺乳類が生息しており、川辺や水溜りなどのやわらかい地面に足跡が残されています。その中の4種類の足跡を挙げてみました。どれが誰の足跡だか、わかりますか?

### 足跡から、どの動物が推理してみよう!

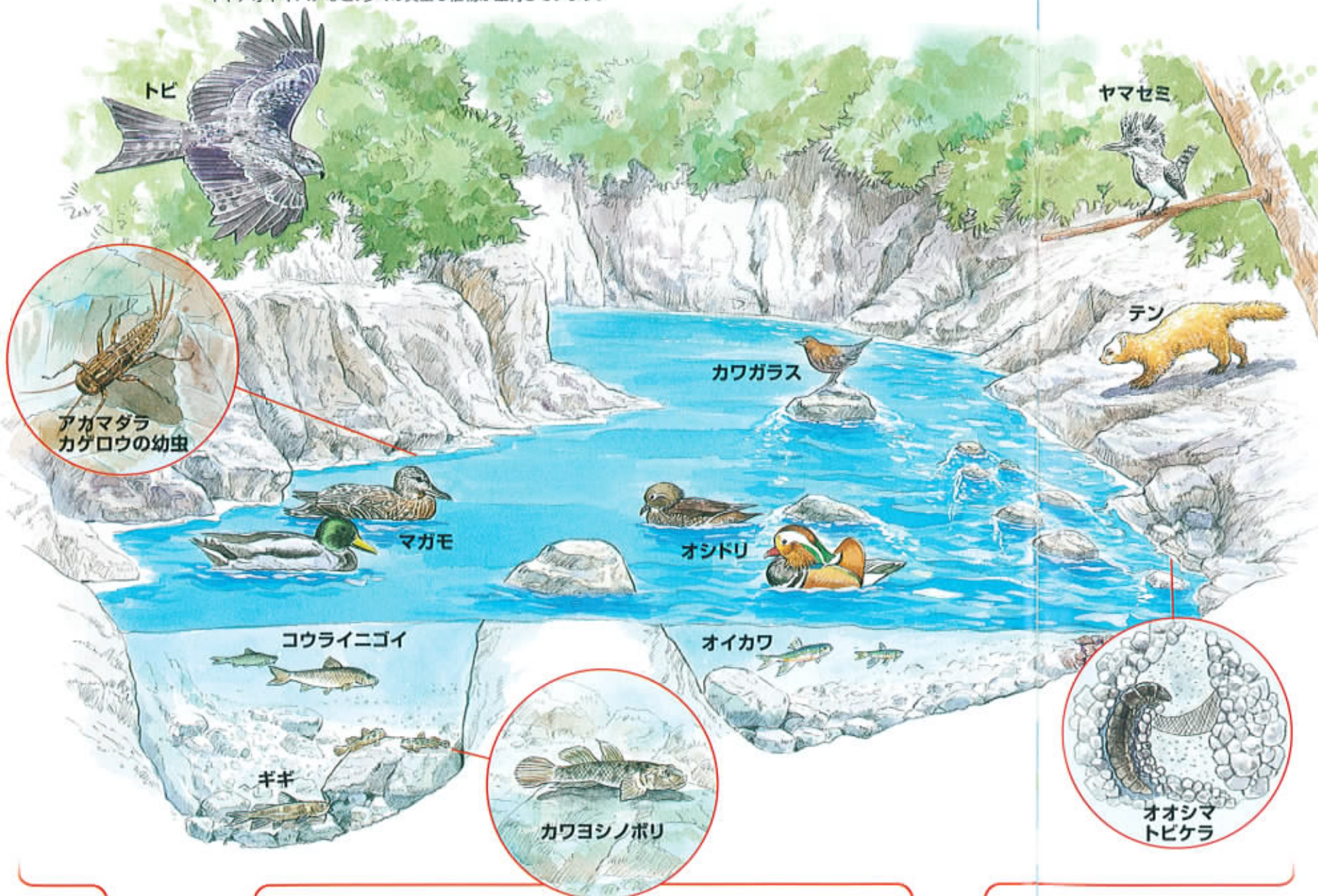


- **魚介類** コイやギンブナは、たいてい瀬や淀みの流れの緩やかなところで見られますが、春になると浅瀬に集まって卵を産みます。オイカワは平瀬を好み、体を傾けてエサを食べます。コウライニゴイは深い川底を泳いでいます。
- **昆虫類** 河川敷に残された緑地は昆虫類の貴重な棲みかになっています。草地では、モンシロチョウ、ヤマトシジミ、ナナホシテントウなどが春から秋まで見られます。水辺ではセシジイトトンボが夏に向けて数を増やしています。秋になるとバッタやトンボの仲間が目立つようになります。
- **鳥類** アオサギやコサギは一年中水際で魚をねらいます。冬にはアオジやツグミなどの小鳥が河川敷にやってきます。それをチョウゲンボウがねらいます。春にはカルガモがヒナをつれて泳ぐ姿が見られるかもしれません。河原ではイカルチドリがちよこちよこ歩いて歩いています。夏のヨシ原ではオオヨシキリが大きな口を開いて「ギョギョシ、ギョギョシ」と騒がしくさえずります。
- **両生・爬虫類** ウシガエルのウォーウォーという声と、ヌマガエルのキャッという声を知っていますか?少し水の流れの緩いところには、ウシガエルの巨大なオタマジャクシが見られます。カヤネズミは春から秋にかけてヨシ原に丸い巣を作り、子育てをします。夏の天気の良い日には、石の上では甲羅干しをするクサガメやミシシippアカミミガメ(ミドリガメ)が見られます。
- **哺乳類** 4月ごろから河川の草はいっせいに成長し始めます。ウキヤガラ、ヤナギタテは水辺の湿地に、コヒルガオ、クズは野原や道端に生えるツル植物です。クズの根からはクズ湯を作るクズ粉がとれます。ヒガンバナは蔓珠沙華(まんじゅしゃげ)とも呼ばれ、お彼岸の頃、草刈をされた堤防で丈の低い草の中から朱色の花を咲かせます。



# 中流（溪谷）の生きもの

川の中流は開けた河川敷があるのが普通ですが、武庫川の中流は溪谷になっています。そのため、普通なら上流の溪谷に棲むカワガラスなどが見られます。山が迫っているため小鳥やテンなど、山の動物が川へやってきます。岸の岩場にはサツキやアオヤギバナなど、多くの貴重な植物が生育しています。



## トピックス

日本固有の生態系があぶない!?①

### 注目種…生きものを大切にしよう!

武庫川には多くの注目種（絶滅の恐れがあるなど、今後の保全が必要な種）が生息しています。その多くはかつては普通に見られたものですが、河川や水田、山地の開発などによって棲み場所がなくなり、絶滅が危惧されています。河川では、近年の護岸工事などの治水事業が人々の生活を洪水から守ってきました。一方で、水位が上がったり下がったり、洪水によって植物が根こそぎ流されたり、というような大きな攪乱が起こる場所に特有の植物や昆虫、魚類などの生息環境が少なくなりました。人の生活を守る治水事業と生物の生息場所の保全が同時にできる生物の多様性の確保を考えた川づくりを目指しています。

アオヤギバナ（溪谷）



トゲナベバタムシ（上流）



タゴガエル（溪谷）



オヤニラミ（上流）



### ■溪谷の生きものカレンダー

種類	月											
	冬		春			夏			秋		冬	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類	オイカワ、コウライニゴイ、ギギ、カワヨシノボリ											
昆虫類	タベサナエ、ムラサキシジミ、コオニヤンマ、オオシマトビケラ、アブラセミ、アカマダラカゲロウ											
鳥類	カワガラス、ヤマセミ、トビ、ミサゴ、オシドリ、マガモ、ノスリ、ルリビタキ、イワツバメ、オオルリ											
両生・爬虫類	イタチ、テン、タヌキ、キツネ、カジカガエル											
植物	サツキ、タニギキョウ、ヤマシノホトギス、ダイモンジソウ											

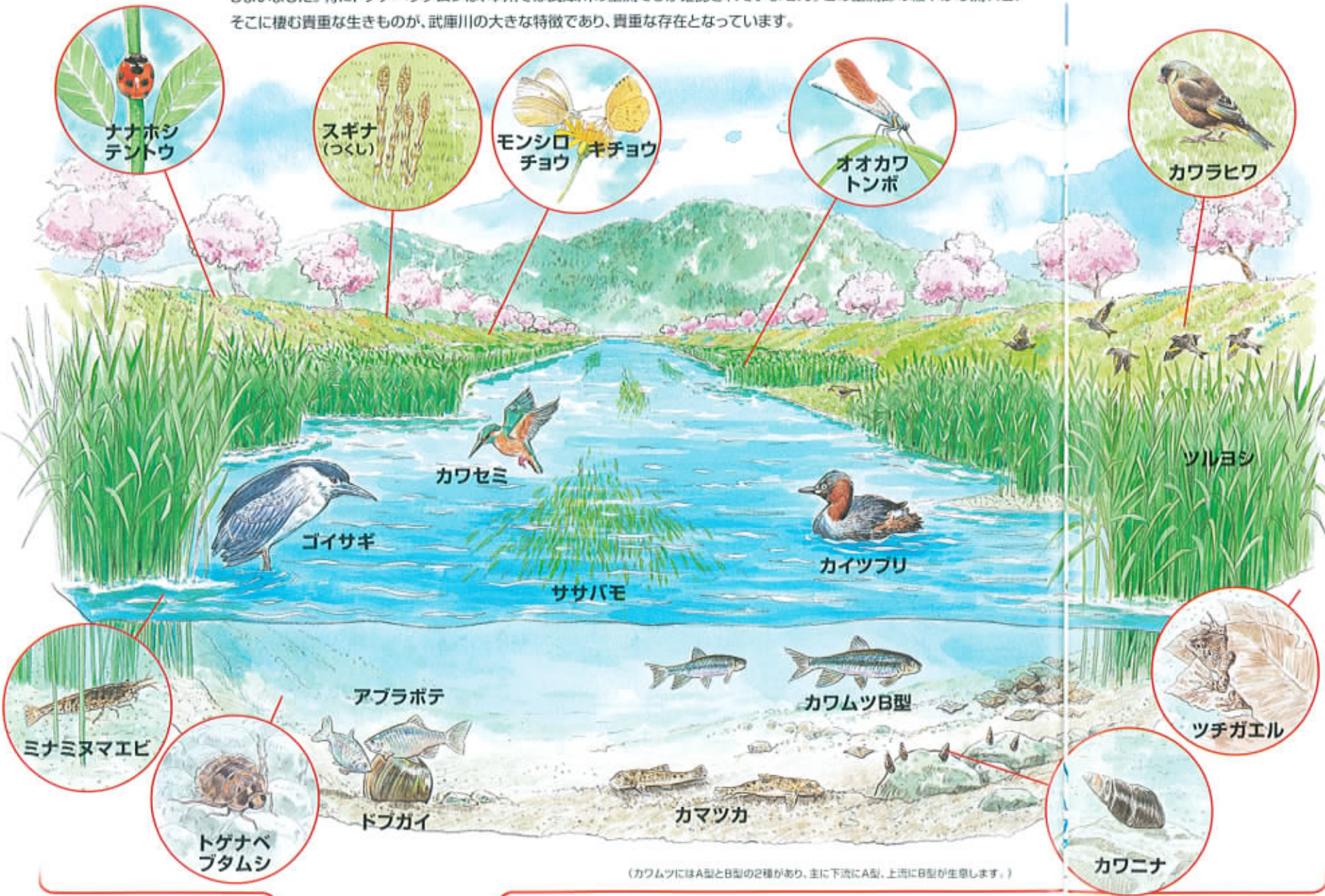
- **魚介類** オイカワは平瀬でエサを食べ、淵で休みます。カワヨシノボリは晩春から夏、石の裏側に卵を産んでオスが守っています。コウライニゴイは川底の砂地にいます。ギギは昼間は石の下などにひそみ、主に夜間に活動します。
- **昆虫類** 春になると一番にタベサナエが姿を現し、6月ごろにはコオニヤンマが見られるようになります。夏になると水辺の林では、セミの仲間が聞こえます。ムラサキシジミは6月頃から現れ始め、秋には多く見られるようになります。
- **鳥類** 両岸に山が迫り、ルリビタキ、オオルリといった山の小鳥が見られます。冬になるとオシドリ、マガモ、マガモなどのカモ類や、ノスリなどのワシタカ類がやってきます。カワガラスは水の中を歩いてエサとなる昆虫を探し、ヤマセミは川岸の枝の上や空中から魚をねらいます。
- **両生・爬虫類** イタチ、テン、キツネ、タヌキなどの哺乳類が山と川とを行き来するため、河原で足跡や糞などのフィールドサインが見られます。4月から7月はカジカガエルの繁殖期で、フィフィフィという声が渓流にこだまします。
- **植物** 岩が剥き出しの溪谷では、岩にしがみつこうようにサツキが生えます。サツキは公園などでよく見かけますが、本当は岩の多い渓流に生える植物です。山地の日陰にはタニギキョウ、ヤマシノホトギス、ダイモンジソウなどがひっそりと生え、遠慮がちに可憐な花を咲かせます。ダイモンジソウの花は「大」の字そっくりです。

※昆虫類は成虫の期間、鳥類、両生・爬虫類は見られる期間、植物は開花期間の一般的な傾向を示していますので、年や場所によって多少異なります。



# 上流の生きもの

武庫川の上流は普通の川と違って、大変流れが緩やかで、周辺の水田と調和し、里の川的な環境となっています。このような環境を好むアブラボテなどのタナゴ類、ササバモのような水草類は、昔はどこにでも見られましたが、今ではすっかり減ってしまいました。特にトゲナベブタムシは、本州では武庫川の上流でしか確認されていません。この上流部の緩やかな流れと、そこに棲む貴重な生きものが、武庫川の大きな特徴であり、貴重な存在となっています。



(カワムツにはA型とB型の2種があり、主に下流にA型、上流にB型が生息します。)

## ■上流の生きものカレンダー

種類	月											
	冬		春			夏			秋		冬	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
魚介類	カマツカ、カワムツB型、ドブガイ、カワニナ、ミナミヌマエビ、アブラボテ											
昆虫類	キチョウ、モンシロチョウ、ナナホシテントウ グンバイトンボ、ゲンジボタル、ヘイケボタル ハグロトンボ オオカワトンボ ナツアカネ、アキアカネ、スズムシ、アオマツムシ											
鳥類	ツグミ、カシラダカ、ベニマシコ キセキレイ、カワセミ、ゴイサギ、カイツブリ、カワラヒワ、ヒバリ ツバメ、コシアカツバメ											
両生・爬虫類	ツチガエル、アマガエル、ノサマガエル											
植物	オオイヌノフグリ、ホトケノザ、スギナ(つくし) カンサイタンポポ オニユリ ツルヨシ、シロネ											

●昆虫類は成虫の期間、鳥類、両生・爬虫類は見られる期間、植物は開花期間の一般的な傾向を示していますので、年や場所によって多少異なります。

## トピックス

## 日本固有の生態系があぶない!?②

### 外来種…生きものについて考えよう!

外来種は外国から日本にやってきて棲みついた生きもののことです。外来種は日本の動植物を食べたり、棲む場所を奪ったり、病気をうつしたり、雑種化したりと、様々な影響を及ぼしています。武庫川にも多くの外来種が生息しています。もっとも悪名高いのはオオクチバス(ブラックバス)です。オオクチバスやコクチバス、ブルーギルなどの肉食の外来種が日本の魚を食べ尽くしてしまいそうな勢いで、日本の魚がどんどん減っています。本来バスは食用として輸入されたもので、非常に淡泊でおいしい魚です。釣ったらリリースせず、ぜひ食べてみてください。植物ではセイタカアワダチソウやオオバタクサなど、動物とは比べ物にならないほどたくさんの外来種が武庫川にも侵入しています。



- **魚介類** メダカは流れの緩やかな水草の繁茂したところで見ることができます。カマツカは砂底や砂礫底にいて、おどろくと砂にもぐり、眼だけを出して身をひそめます。カワムツB型は淵から平瀬にかけて見られますが、特に淵で多く見られます。
- **昆虫類** 河川敷の草地ではキチョウやモンシロチョウが春から秋まで見られます。5月下旬になるとグンバイトンボやゲンジボタルが、少し遅れてヘイケボタルが飛び出します。オオカワトンボは4月頃から飛び始め、5月頃にはたくさん見られます。秋になるとナツアカネやアキアカネなどの赤とんぼが飛びまわり、草むらからはスズムシやコオロギ類などの声が聞こえてきます。
- **鳥類** 春先にはカワラヒワやヒバリの途切れないさえずりが聞かれます。カルガモやカイツブリがヒナを連れてるのが見られるかもしれません。冬にはツグミやカシラダカ、ベニマシコがやってきます。
- **両生・爬虫類** 武庫川の上流には水田と小川が見られ、たくさんのカエルが棲んでいます。ツチガエルやヌマガエルは小川で、アマガエルやノサマガエルは水田でよく見られます。
- **植物** 春、日差しが強くなってくると、冬をじっと耐えたオオイヌノフグリ、カンサイタンポポなどが、いっせいに花を咲かせます。初夏にはオニユリが大きなオレンジ色の花を付けます。ツルヨシは河原で青々と茂り、秋にはススキのような穂を伸ばします。



## 河川における体験的な教育活動

県立篠山産業高等学校丹南校では生徒と先生が一体となって幅広い体験的な教育活動に取り組んでいます。このような活動の一つが、学校の近くを流れる武庫川(田松川)での草刈り作業や水質・淡水魚・水生昆虫・水生植物の調査研究です。

草刈り作業は、ホタルが生息する身近な自然環境の大切さを考え、河川の保護と美化に努めようと毎年6月に全校生徒・先生・保護者が参加して行われています。調査研究は、ホタル研究会の生徒たちが中心となって毎年夏休みに進められている活動です。また、小学生に川の自然を教える催しにも講師として参加する等、河川を通した幅広い活動を目指しています。



田松川ではどんな生きものが見つかるかな

### 問い合わせ先

兵庫県立篠山産業高等学校丹南校 ☎079-595-0007

## むこがわ子ども探検隊

武庫川流域環境保全協議会では、夏休みに「むこがわ子ども探検隊」を募集し、小学生を中心に様々なイベントを開催しています。2002年の夏には、有馬富士自然学習センターを見学した後、支川の羽束川で川に住む生物を採集して、川の水質を測る水生生物調査を行いました。水生生物調査の器具類を前にして、みんなワクワクドキドキ。川を汚すのは簡単、でもきれいにするのは大変ということを感じることができました。



ワクワク、ドキドキ準備はOK

あっ!そこにいるヨ!

### 問い合わせ先

武庫川流域環境保全協議会事務局  
(阪神北県民局県民生活部環境課) ☎0797-83-3146

## 武庫川河川敷公園を美しくする会

この会は、宝塚市の中心を流れるシンボリックな存在である武庫川を、市民や来訪者が集い・憩える場所として、また未長く愛される河川公園として、美しく保つことを目的として設立されました。この目的のために様々な活動を行っています。たとえば清掃活動などがあります。



キレイが一番だね(清掃活動)

### 問い合わせ先

宝塚市公園緑地担当 ☎0797-71-1141

## 川で遊ぶときの注意

### ■川へ行くときには

- ・川底や川の石はすべりやすいので注意しましょう。
- ・流れの早いところでは泳がないようにしましょう。
- ・深みのほうへは近づかないようにしましょう。
- ・急に水かさが増すことがあるので注意しましょう。
- ・流れの早い所ではひざまで入らないようにしましょう。
- ・ひとりで行かないようにしましょう。

### ■キャンプをするときには

- ・植物がないところは、水がそこまで増えることがある場所です。
- ・中州にはテントは張らない。
- ・雨が降ったら、川の近くでのキャンプは中止しましょう。
- ・ゴミは必ず持ち帰るようにしましょう。
- ・洗剤を使わないようにしましょう。

### ■危険な動植物(触ってはいけないもの)



マムシ



ハチ



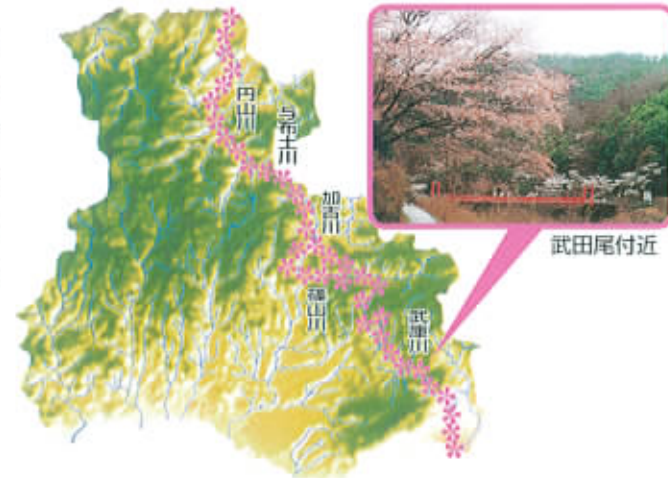
アブ



ウルシ類

## ふるさと桜づつみ回廊

「ふるさと桜づつみ回廊」事業は、瀬戸内海から日本海を結ぶ、延長約170kmの川ぞい(武庫川～篠山川～加古川上流～円山川)を桜でつなぎ、県民に親しまれる川づくりに向けて、水と緑を生かした、うるおいとやすらぎのある水辺空間を創造することを目的として、平成3年度より取り組んできました。さらに、回廊上の憩いの場、交流の拠点として「さくらの名所たけだお」が平成13年春に誕生しました。



武田尾付近

## ひょうご・人と自然の川づくり… 基本理念・基本方針

兵庫県では、川のもつ多様な機能と我々の生活との豊かな関わりを未来に継承していくため、治水・利水の充実のもと、環境にも配慮した「ひょうご・人と自然の川づくり」基本理念及び基本方針を定め、人と自然が共生する豊かな川づくりを進めています。

### 基本理念

- 安全ですこやかな川づくり
- 自然の豊かさを感じる川づくり
- 流域の個性や水文化と一体となった川づくり
- 水辺の魅力と快適さを生かした川づくり

### 基本方針

#### 治水・利水

- ・流域全体で考える安全で利用しやすい川づくり
- ・偉大な自然の力に対して県民がみんなで守る身近な川づくり

#### 水文化・景観

- ・川に沿いながら培われてきた歴史や文化を生かした水景づくり
- ・自然の美や豊かさや調和した水景づくり
- ・地域の自然と生活に溶け込み、あきのこない水景づくり

#### 生態系

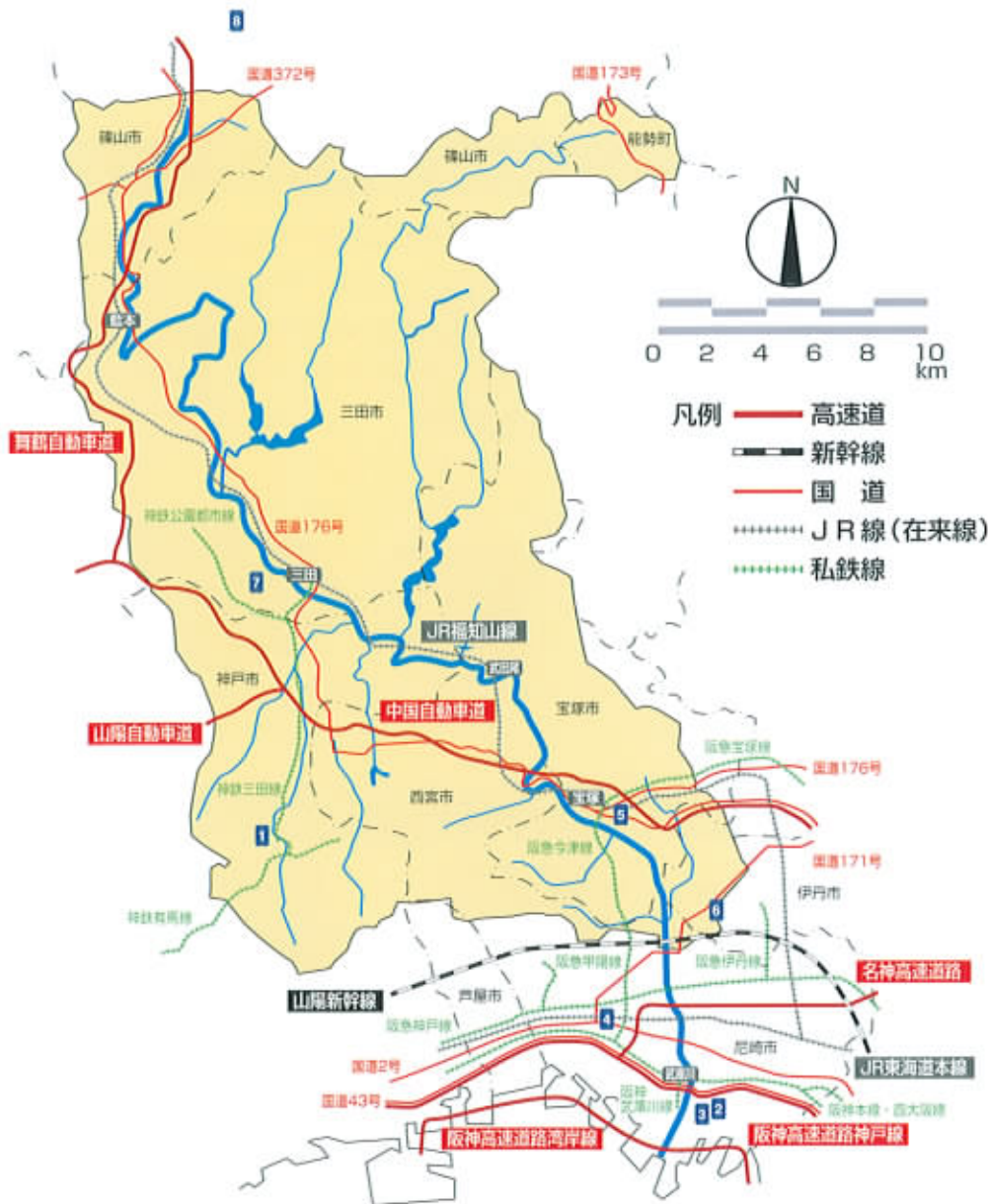
- ・自然の豊かさやすみ分けを配慮した水脈づくり
- ・さまざまな生命を育む水と緑の水脈づくり

#### 親水

- ・多彩な交流を育む多様な水辺空間づくり
- ・自然に直接ふれ、よく観察し、学習できる水辺づくり
- ・散らかさない、汚さない、水辺につくるきれいな生活空間づくり
- ・水辺への安全を目指す意識づくり



# 武庫川交通マップ



ご意見等ありましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

- 1 神戸県民局県土整備部神戸土木事務所有野事業所  
〒651-1331 神戸市北区有野町唐櫃字ケン上畑36-3  
☎ 078-981-5291
- 2 阪神南県民局県土整備部尼崎土木事務所  
〒660-0083 尼崎市道意町7-1-3  
☎ 06-4869-6105
- 3 阪神南県民局県土整備部尼崎港管理室  
〒660-0083 尼崎市道意町7-21  
☎ 06-6412-1361
- 4 阪神南県民局県土整備部西宮土木事務所  
〒662-0854 西宮市櫛塚町2-28  
☎ 0798-23-7788
- 5 阪神北県民局県土整備部宝塚土木事務所 **(事務所代表窓口)**  
〒665-0835 宝塚市旭町2-4-15  
☎ 0797-83-3101
- 6 阪神北県民局県土整備部伊丹土木事務所  
〒664-0898 伊丹市千僧1-51  
☎ 072-783-1231
- 7 阪神北県民局県土整備部三田土木事務所  
〒669-1531 三田市天神1-10-14  
☎ 079-563-5611
- 8 丹波県民局県土整備部篠山土木事務所  
〒669-2341 篠山市郡家451-2  
☎ 0795-52-2811



(愛称:ココロ)  
"こころ豊かな美しい兵庫"を  
めざして



2006  
のじぎく兵庫国体  
"ありがとう"心から・ひょうごから



14土②-035A4